

第64回横浜労災病院地域医療支援委員会議事録

- 【開催日時】 令和4年12月22日（木） 19:00～19:30
【場 所】 オンライン（Zoom）／横浜労災病院病棟外来診療棟3階 Web 会議室1
【進 行】 （議事）内藤委員長
（議事以外）八田地域医療連携室長（医事課長）
【出席委員】 内藤委員長 鈴木副委員長 山本（俊）委員 岩田委員 山下委員
柴田委員 片山委員 山本（智）委員 北川委員 吉田委員（代理）

1 開会

2 三上病院長挨拶

3 議事

（1）入院・外来患者数等実績報告（令和4年度10月累計）

（※病院としては「コロナ前の水準への回復」が当面の目標となっている。
各種データは令和3年度と比較することにする。）

1 紹介・逆紹介件数

紹介及び逆紹介件数（月平均）は、令和4年度1394.3件/月、1457.0件/月となっており、前年度比で紹介+51.2件/月、逆紹介△18.9件/月という状況であった。徐々に回復してきているが、コロナ前にはまだまだ及んでいない。

2 紹介率・逆紹介率

紹介率及び逆紹介率は、令和4年度92.0%/96.1%となっており、紹介率+0.6%、逆紹介率△4.3%という状況である。

3 入院患者数・平均在院日数

入院患者数及び平均在院日数は、令和4年度475.9人/10.2日という状況であった。今年度は昨年に引き続き「入院患者の確保」が課題となっており、PFMをより一層推進し、ベッドコントロール室を立ち上げるなど院内体制の整備を行った結果、前年比+21.9人/日とコロナ対応フェーズ3の体制下にあってもやや回復することができた。

4 外来患者数（延患者数・実患者数）

外来患者数は、令和4年度1649.1人/日となり、前年度（1634.2人/日）とほぼ同じような状況であった。しかしながら、内訳で分析すると、実患者数が+94.8人/日（989.2人/日）と大幅に増加した反面、他科併診受診が△117.3人/日と大きく減少した。

5 救命救急センター取扱患者数・救急搬送件数

救命救急センター取扱患者数及び救急搬送数は、令和4年度1940.7人/月、749.3台/月という状況である。新型コロナの影響によりウ~~オ~~ークイン患者が大幅に減少している状況ではあるが、今年度は救急車の受入を積極的に行い、前年度比救急搬送件数+165.3台/月、取扱患者数+429.4人/月と大幅に増加した。しかし、一般患者の中にコロナに罹患している患者~~が~~紛れているなど、感染の潜在化がより著しくなっている状況が窺えた。

6 新入院患者の経路別入院数

新入院患者の経路別入院数は、令和4年度1488.1人/月と前年度比+73.3人/月となっている。これは、外来実患者の増、救命救急センター取扱患者の増ということもあって、外来からが+40.9人/月、救急からが+32.4人/月という結果であった。

7 分娩件数・ハイリスク分娩件数

分娩件数及びハイリスク分娩件数は、令和4年度49.1人/月、9.7人/月と前年度とほぼ同程度であった。前年度比で分娩件数△0.8人/月、ハイリスク分娩件数△1.69人/月と微減という状況であった。

8 分娩にかかる地域別患者構成比

分娩にかかる地域別患者構成比は、病院所在地である横浜市港北区を含む旧横浜市北部医療圏が80.7%とほぼ例年通りの状況であった。しかしながら、その他の地域では、横浜市の北部圏外からが6.6%（前年度比△2.5%）、横浜・川崎を除く神奈川県内からが4.0%（前年度比+2.1%）と構成比に変動があった。

9 放射線（ノバルス・リニアック・IMRT）治療実績

放射線治療実績については、令和4年度24.7件/月と前年度比△6件/月という状況であるが、これは、令和4年2月から7月にかけてリニアックの更新に伴いを行ったことから治療可能患者数の制限を行った影響によるものである。

10 ガンマナイフ治療実績

ガンマナイフ治療実績については、令和4年度48.4件/月であり、前年度比△1.1件/月という状況であった。

11 ダヴィンチ治療実績

ダヴィンチ治療実績については、令和4年度14.0件/月であり、前年度比△0.4件/月という状況であった。

（2）新規登録医療機関について

令和4年9月～10月にかけて新規登録医療機関は9医療機関であり、それぞれ港北・神奈川・都筑区からが2医療機関、緑・保土ヶ谷・旭区からが1医療機関という状況となっている。

（3）登録医制度実績について

令和4年10月末現在の登録医療機関数は760医療機関・1019名となっており、医科が606医療機関、歯科が154医療機関という状況である。来年、相鉄・東急新横浜線が開通することから沿線である旭区や保土ヶ谷区などの医療機関への訪問活動を計画している。

共同利用の利用状況は以下のとおりで例年並みの推移であった。

C T	158件（10月累計）	23.6件/月
M R I	96件（10月累計）	13.7件/月
上部消化管内視鏡	9件（10月累計）	

（4）m3.comへの記事配信について

令和2年9月よりm3.comへ配信しているが、令和4年1月～12月の間、9診療科が配信している。今後も診療科の協力を得ながら継続することとしている。

(5) 質疑応答・意見交換

(内藤委員長) 新規登録医療機関について、医師会に未加入の先生が増えているのか。医師会への加入に関して確認は取れているのか。

(事務局) 登録医加入申請を頂いた際、各医師会の医療機関一覧にて確認させて頂いている。なお、医師会加入の確認方法に関しては今後変更することにするを検討する。

(内藤委員長) 歯科医師会への新規加入状況は如何か。

(片山委員) 歯科医師会への新規加入はこの2～3年増えている。しかし、コロナ禍平ということもあって会合ができないことから、労災病院の登録医制度に関する情報共有はできていない。医師会では何か特別なアプローチをしているのか。

(内藤委員長) 状況的には医師会も同じである。コロナ禍平であっても病診連携はそれなりに出来ているが、診診連携が非常に希薄になっている。しかしながら、これからはより一層“With コロナ”の動きが活発になることから、診診連携の活性化にも取り組んでいくと思われる。様々な機会を見つけてアプローチして頂きたい。

(内藤委員長) m3.com はどの程度の反響があるのか。

(事務局) 記事は1回約2300人に配信され、そのうち約20% (約460人) に閲覧されている。閲覧された方のうち、10～20人程度の方がアンケートに回答し、「紹介を前向きに検討したい」や「コンテンツを引き続きみたい」といった反応を示してくれている。

(内藤委員長) 外へ発信する新しい取組として大変良いと思うので引き続きお願いしたい。また、コロナが終息した暁には、区民や市民に対する情報発信にも取り組んで頂きたい。よろしくお願いします。

(鈴木副委員長) 来年度「サルビアねっと」に参加すると伺っているが、現在の進捗状況をお伺いしたい。

(事務局) 来年4月の稼働を目標にシステムの構築作業をすすめているところである。また、近隣の医療機関に対してのプロモーション活動も始めたところである。

(鈴木副委員長) 労災病院の登録医療機関に対して、特別なプロモーションを行うのか。

(事務局) 参加施設の拡大についてはサルビアねっと事務局との調整が必要なことから、時機をみて当院からのアナウンスなども行っていきたい。

4 永瀬副院長（患者サポートセンター長）挨拶

5 閉会

(事務局からの説明)

本日の内容は、後日、議事録としてお送りいたします。

また、次回の委員会は令和5年3月22日(水)を開催予定としておりますが、後日、改めて確認のご連絡をさせていただきます。